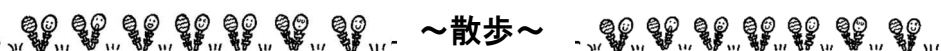




2019年5月号
社会福祉法人 尚徳福祉会
生麦保育園

新緑が鮮やかで、とても心地よい季節になりました。子どもたちは入園、進級してから1か月が過ぎ、きりんぐみでの生活にも慣れ始めてきたようです。『いっしょにあそぼ』『いっしょにつくろう』と声をかけ誘い合い遊んでいる姿が見られます。戸外では春のあたたかな日差しの中で、それぞれの好きなことを伸び伸び楽しんでいます。新しい環境、新しい生活…大きくなった喜びとともに、小さな葛藤やちょっぴりの不安…様々な気持ちを抱える時期です。子どもたちの気持ちが解放される楽しい時間をたっぷりと取りながら、一人一人の心に寄り添い、4歳児としての生活が主体的に受け止めることができるよう、今のこの時を大切に過ごしていきたいと思えます。



うさぎぐみと手をつないで貝の浜公園へ出かけた時には『まもってあげるね!』と、うさぎぐみのお友だちを歩道側にしてリードする姿が見られました。また、お兄さんお姉さんのぞうぐみと出かけた時には手をつないでもらい、一緒に歌を歌ったり会話を楽しんだりし、リラックスした表情でした。横断歩道を渡るときには、左右の確認をし、しっかりと手を挙げ忍者のようにササッと急ぎ足で渡たり、歩道の白線の内側を歩くなど交通ルールを守りながら散歩ができました。公園では、つくしを見つけ『これ、食べられるよ。』『おばあちゃんが煮てくれたけど苦かった。』なんて会話も聞こえ、心がほっこりとなりました。これからも、たくさん散歩に出かけ探索あそびをしていきたいと思っています。



こいのぼり制作



細長い折り紙をチョキンとハサミで一度切りし、自分で選んだ好きな色の紙に、のりで貼りこいのぼりの鱗にしました。のりが指先に付きすぎると涙のようにこぼれてしまうので、入れ物の縁で指を優しくなでるといいよと伝えると“よしよし”“いいこ、いいこ”といいながらのりの量を上手に調整していました。また、♪やねよりたかい…♪と誰からともなく歌声が聞こえ始め、最後には大合唱となっていました。制作の前には吹き流しが五色あることや、こいのぼり、五月人形の由来について話をすると真剣に聞いていました。ぜひ、ご家庭でも話してみてくださいね。



子どもの様子♪

- きりんぐみとなり、当番活動が始まりました。毎日、4つのグループから一人ずつの当番が給食とおやつの際にテーブルを拭き、ティッシュスーパーの準備や配膳のお手伝いをします。子どもたちは『まだかな?』『明日かなあ?』『あっ、あと〇にちだ!』と当番のカードをめくって見ては、とても楽しみにしています。
- 食事やおやつを楽しい雰囲気の中で摂ることは心や脳の栄養に繋がっていきますので、子どもにとって楽しい時間になるよう工夫していきます。連休明けには、きゅうりの苗を植え、生長を見守り、夏には収穫し食べたいと思います。



~お知らせ~

クラス懇談会を5月25日(土)に行います。クラスの様子や今後のことなどお伝えしたいと思います。保護者の皆様と保育者、また保護者の方同士がお話していただける機会ですので、参加をお待ちしています。